

## 朝来市総合計画審議会 第3回 会議録

- 開催日時 令和3年2月12日（金）13時30分～16時05分
- 開催場所 朝来市役所本庁舎 3階 庁議室
- 出席者の氏名

	出席者	欠席者
委員	岡 和彦	なし
	桐山 徹郎	
	草郷 孝好	
	篠原 諒太	
	下口 光子	
	関 綾乃	
	津 志歩	
	中尾 敦子	
	西垣 佳生	
	濱 智絵	
	松本 正寛	
	宮谷 泰史	
	吉井 忠大	
事務局 (市長公室総合政策課)	政策担当部長 赤間 博貴	
	総合政策課長 松本 昭浩	
	副 課 長 和田 幸司	
	課長補佐 馬袋 真紀	
	主 査 高本 恵三	

- 傍聴者 なし
- 会議
  - 1 開会
 

第3回朝来市総合計画審議会を開催する。

## 2 あいさつ

### 会長

前はリモート参加となったが、今回は、朝来市に早めに到着し、まちの雰囲気を見て、空気感も感じることができた。

前回と同様に、今回も自由な発想で、良い意見交換をしていきたいと考えている。よろしくお願ひしたい。

### 担当部長

既にご存じだと思ひが、現市長の多次市長は、4月執行予定の市長選挙には出馬しないと明言されている。そのこともあり、総合計画の策定に向けては、職員でしっかりと議論を重ねていく必要があると感じている。そのためには、審議会で意見をいただきながら、しっかりとした総合計画づくりを進めていきたいと考えている。

## 3 審議

### (1) 基本構想について (共有)

#### 事務局 <資料1、資料2、資料3>

基本構想たたき台について説明。

- ・第2回審議会での意見、議会調査特別委員会での意見、総合計画策定会議での意見を踏まえて、概念図(資料2)を修正した。
- ・概念図(資料2)をもとに、基本構想等の文章を作成した。

### 会長

資料1のP11「未来へのまなざし」で、「この考え方は、持続可能な開発目標(SDGs)にも共通するものです。」の表現は、もう少し明確に、「この考え方は、持続可能な開発目標(SDGs)の基本理念『持続可能な社会の構築』に通じるものです。」などに修正する方が良い。SDGsは、17の目標があり、このままの表現ならばやけてしまう。この「大切な考え方3」で言いたいことは、「持続可能な社会をつくる」ことであるため、明確に表現する方が良い。

### 副会長

これまでの朝来市のまちづくりのことも良く分かる内容だった。

資料1のP1「策定の趣旨」にある「今までの価値観を超えた新たな時代」という表現と、P7「②未来思考による計画づくり」にある「先を見通すことが難しく不確定性が高い状況にあります。」という表現が少しわかりづらい表現だと感じた。

P11「未来へのまなざし」にある「今ある自然環境は、当たり前で持続するものではなく市民の暮らしの営みが大きく影響するもの」という表現は、「市民の暮らしや営みが環境に影響を与える」という意味だと思うが、その

場合、「当たり前」に持続する」ではなく「そのまま持続する」の方が分かりやすいのではないかと感じた。

また、P12「行政のみならず市民一人一人に」とあるが、「行政のみならず」は不要ではないかと感じた。

#### 事務局

御意見いただいた部分について、今すぐに代案の提示や修正の決定はできないが、再考させていただきたい。そのうえで、表現が分かりづらいと御指摘をいただいた部分がどのような意図であったのかを説明する。

P1については、P5（9）に記載している「価値観やライフスタイルの多様化」と記載している通り、様々な価値観やライフスタイルが生まれているので、それらを踏まえてこれからの朝来市づくりを考えていくという意図で記載している。「今までの価値観を超えた」を削除しても文章はつながるが、審議会等の意見も踏まえ、今回の総合計画では、「新しい価値観」「多様性を認め合う」というところを表現したいという意図がある。

P7については、「予測が不可能な時代」とも表現されることもあるが、そのことを表現している。

#### 副会長

市民が大切にしている市民自治のまちづくりについて前段等で記載されているが、新たな価値感を大切にすることによって、市民自治のまちづくりについても変わっていかねばならないものという誤解が生まれやすいような表現をお願いしたい。

#### 事務局

P11は、経済活動など市民の暮らしに伴って自然環境は影響し合うということ表現している。

P12は、P6～7で「まちづくりの主体」を行政、市民、市議会と記載していることを踏まえ、P12では少なくとも市民と行政は記載したもの。再考を検討する。

#### 委員

「多様性」「多様な」「多様な市民」など、「多様」という言葉が多く使用されている。資料1のP12図で、「多様性」とあるが、「自然環境の多様性」「価値観の多様性」など、捉え方が様々あると思う。

#### 事務局

「多様」という言葉が多いと認識している。今後、精査は必要だと考えている。

#### 会長

「多様性」と「多様」を分けてみてはどうか。「多様」は、「様々」「色々」などに変更することができる。

## 委員

資料1のP12「あるべきまちの状態」という表現は、こういう姿にならないといけないというイメージになる。今までの対話の中では、多様性を大切にしてきたと思うが、その考え方にそぐわないのではないか。将来像とつなげた表現にしたほうが理想像につながるのではないか。

## 会長

市民の皆さんにも「自分たちの総合計画」だという気持ちにつながる重要な部分だと思う。

## 事務局

良い表現を検討したい。

## (2) 施策体系について

### 事務局 <資料4>

施策体系たたき台について説明。

- ・あさご未来会議や審議会での意見を踏まえながら、第2次後期基本計画をもとに、統合や分割等を行い、施策体系のたたき台を作成。
- ・施策の目的（なんのための施策なのか）を精査し、目的に応じて、「あるべきまちの姿」に各施策を紐づけている。
- ・あさご未来会議や審議会等で重要視された「人材育成」「地域共生社会」「自然との共生」「情報発信」は、一つの施策とした。
- ・後期基本計画策定時にはなかった考え方として、「多文化共生」「関係人口」等について新たに項目として追加している。
- ・あさご未来会議や審議会で出された意見をもとに、各施策の重要なキーワードが分かるように施策名及び事業実施方針名を表現している。

## (3) 基本計画に向けての大切にしたい視点について

①施策体系に係る施策の位置づけ・施策名・施策の統廃合・順番などについて（グループ対話）

②将来像やあるべきまちの姿に向かって伸ばしたいこと・困っていることなどについて（グループ対話）

グループごとに将来像について対話を行う。

③全体共有

各グループから対話の内容について発表。

対話の内容は、別紙の通り。

#### ④総括 会長

今日は、私は一つのグループの対話に参加して、朝来市の強みを感じ、課題についても理解することができた。

皆さんの発表を聞き、感じたことは2つある。

1点目は、各施策は他の施策とも関わり合っているということ。このことは、どちらかの施策に整理するだけでなく、関係している施策が資料のなかでも分かりやすいよう工夫があると良いと感じた。例えば、雇用に関して言えば、雇用の施策の欄には障害者や移住者の雇用との連携の必要性について分かるように表記することで、みんなが理解していくことにつながるし、社会問題を構造的に理解していくことにつながる。

2点目は、将来像が実現したときのまちの姿として6つの項目で表しているが、数が少なくても良いのでそれぞれの項目の中にある大切なキーワードを出し合い、それぞれの施策がこのキーワードにつながっているという見せ方ができると良いと思った。

これらのことは、今後、審議会等でいただいた意見等を踏まえながら基本計画等でどのように整理していくのかになる。このように考えると、今日も次につながる多くのアイデアをいただき、感謝している。いただいた意見を次のステップにつなげていきたい。

#### 4 その他

今後の会議予定を連絡。

- ・令和3年4～7月に3～4回程度の開催を予定。
- ・日程が決定次第、改めてご案内する。

#### 5 閉会

##### 副会長

今日も長時間ごくろうさまでした。

会長の総括とも重なるが、防災は地域コミュニティと連携が必要だという意見がグループ対話のなかであった。総合計画は行政の計画であるため、分野別に整理されていくものであるが、地域社会は分野別ではなく分野横断的な課題があることを踏まえていただきたい。

今回の資料3のように、審議会での委員の意見を整理していただいているが、今後も引き続きこのように整理し、委員の意見が反映されるように進めていただきたい。